

業績ハイライト

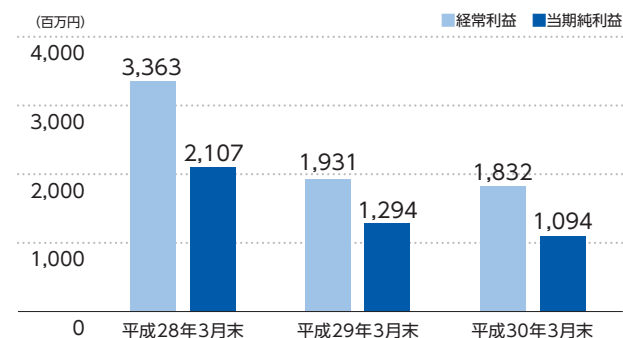
平成29年度の決算は、資金運用収益の減少などにより減収減益となりましたが、預金残高及び貸出金残高は過去最高を更新するなど、業容は順調に推移しました。

また、自己資本比率は9.40%と国内基準で必要とされている4%を大きく上回っているほか、不良債権比率も1.35%に低下し、安全性・健全性ともに高い水準を維持しています。

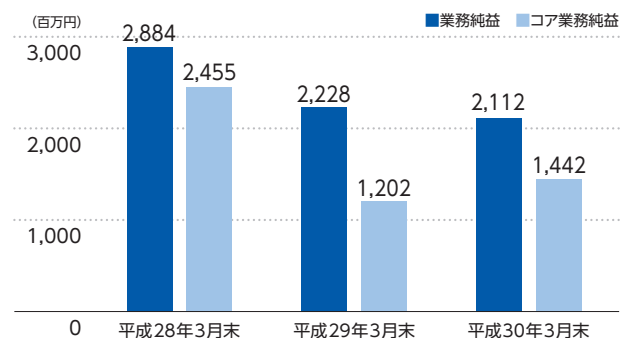
用語解説 コア業務純益

コア業務純益とは、一般企業の営業利益に相当する業務純益から、国債等債券関係損益や一般貸倒引当金繰入額など一時的な変動要因を控除したもので、金融機関の本来業務から得られる利益となります。

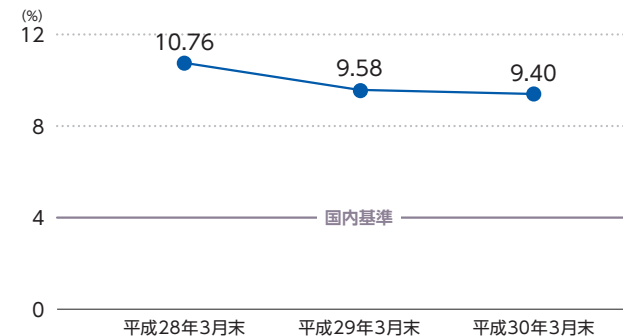
経常利益／当期純利益(単体)



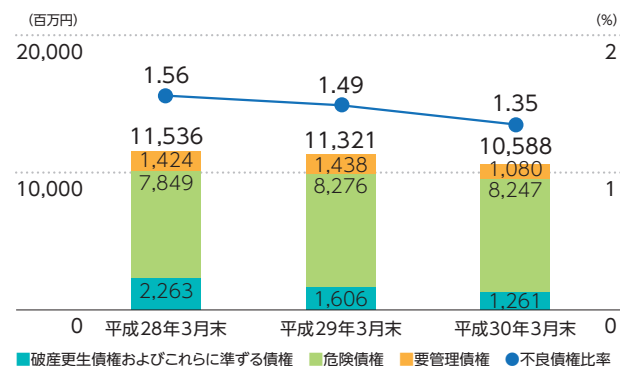
業務純益／コア業務純益



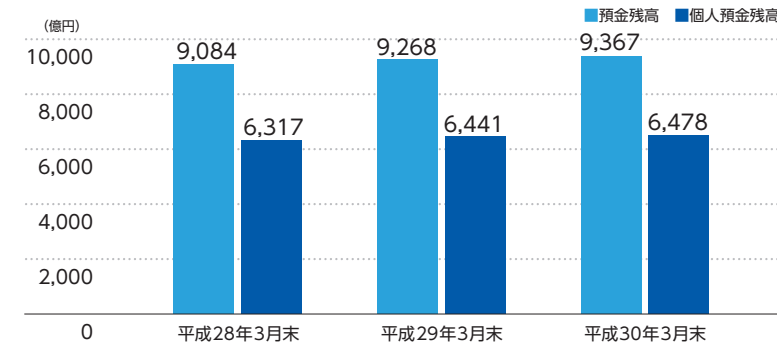
自己資本比率(単体)



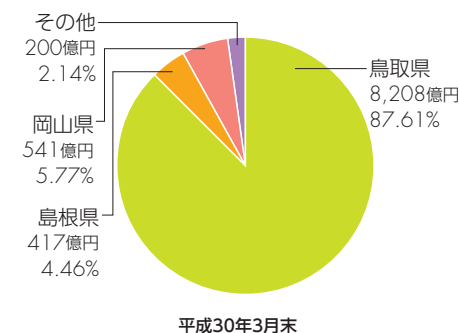
不良債権の状況(単体)【金融再生法ベース】



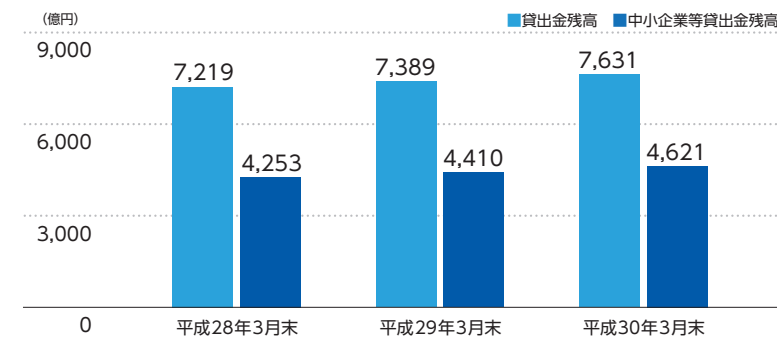
預金残高(単体)



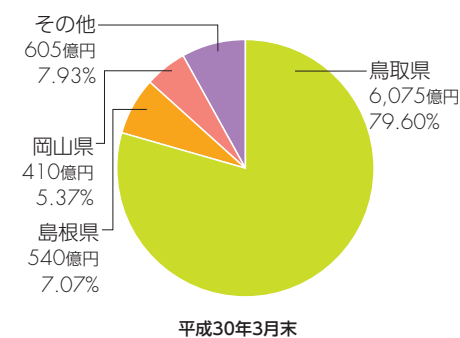
地域別預金残高



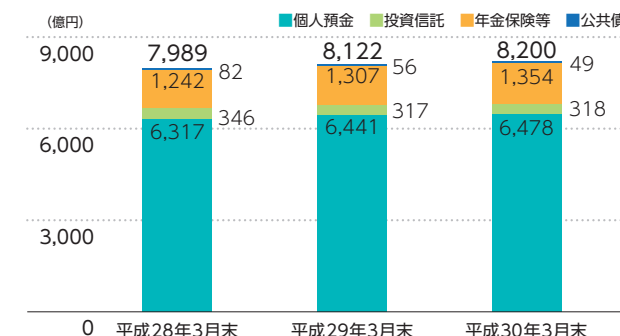
貸出金残高(単体)



地域別貸出金残高



個人預かり資産残高(単体)



個人ローン残高(単体)

